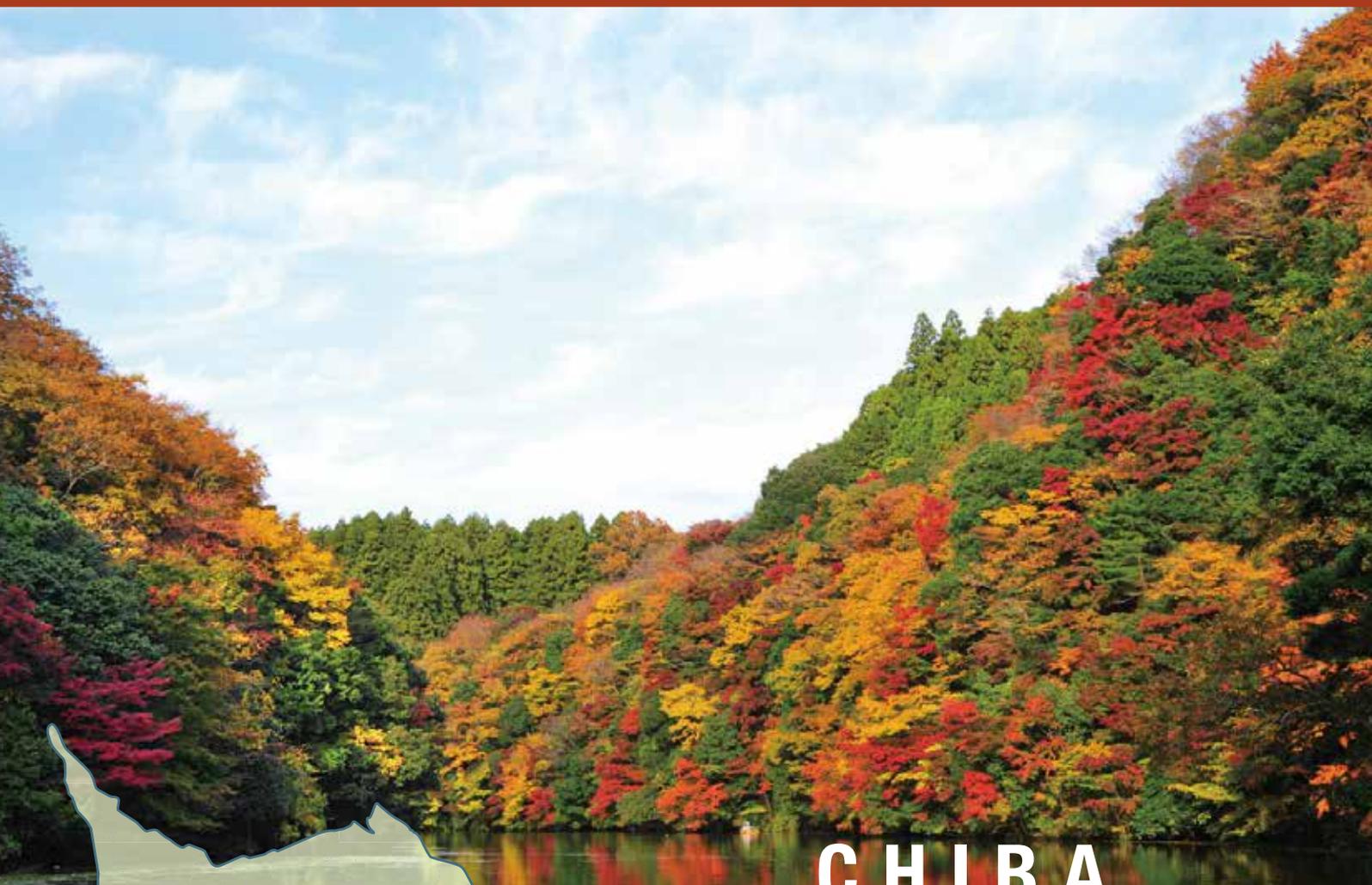


Governor's Monthly Communication

2018-19年度 国際ロータリー第2790地区

To Club Presidents and Secretaries in District 2790 (CHIBA)



CHIBA 月信

11

November 2018

亀山湖の紅葉

君津市の亀山湖は、広葉樹と針葉樹が自然のままに残されており、黄色赤緑のコントラストが目には鮮やかです。風の無いよく晴れた日は、色づいた木々が湖面に映りこむ様を楽しめます。



BE THE INSPIRATION

ロータリー財団月間

Rotary



地区行動指針 「伝統と未来」 ～誇りと連帯感～

国際ロータリー第 2790 地区

2018-19 年度 ガバナー 橋岡 久太郎 (佐倉中央RC)



ガバナー公式訪問 茂原 RC 2018 年 9 月 6 日

－ポリオ撲滅へのカウントダウン－

10月27～28日に行いました地区大会には多くの皆様にご参加頂き、ありがとうございました。約2,000名のロータリアンとロータリーファミリーの方々を集う2日間は見事にして素晴らしいものでした。

さて、今月は「ロータリー財団月間」です。ロータリー財団の歴史は1917年のアトランタ年次大会の会場で、当時のアーチ・C・クラフ会長が「世界でよいことをするための基金を作るのが、極めて適切だと思われまます」と提案したことから始まります。基金への初めての寄付はカンザスシティロータリークラブからの26.5ドルでした。約10年後の1928年には「ロータリー財団」と正式に命名され、100年の間に教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトにこれまでに約30億ドルの資金を提供してきました。資金の90%以上が奉仕プロジェクトに直接活かされており、チャリティナビゲーターによって慈善団体への最高評価である4つ星を与えられています。

このような素晴らしいロータリー財団の活動の中で、私が今年度特に皆様方をお願い申し上げたいのは「ポリオプラス・プログラム」へのお力添えです。

1985年にポリオプラス・プログラムを開始した当時は、全世界で毎年125ヶ国35万件以上の発症が確認されていましたが、この33年間で世界中のロータリアンとメリンダ・ゲイツ財団等のポリオプラス・パートナー団体からの寄付金約18億ドルで、25億人以上の子供

に予防接種を行ってまいりました。その効果でポリオの症例は99.9%以上減少し、1988年に35万件だった症例数は、今年9月には何と17件になりました。

2018年1月のサンディエゴでの国際協議会の時に、担当責任者から今年度には「ポリオ発症0宣言」が出せるかもしれないとの報告がありました。発症0が3年継続すると「撲滅宣言」になります。本当にあと1歩の所まで来ているのです。公衆衛生の投資の中でも、「予防接種」の費用効果は非常に大きいのです。世界からポリオがなくなれば、医療費が2035年までに最高で500億ドル削減されるという費用効果があります。そして何より体の自由を奪うこの病気によって子どもがマヒに侵されることは二度とありません。

ポリオ撲滅のために出来ることはたくさんあります。まずは、「ポリオプラス」への寄付。そして、「ロータリーカード」の活用。ロータリーカードはご利用金額の0.3%がカード会社よりロータリー財団に送金されポリオ撲滅に役立てられます。そして貯まったポイントは財団に寄付も出来るのです。一番大切なのはポリオの現状について知り、皆で情報を共有し、発信していくことです。

それが、共感を得てますます大きな力になっていくと思います。

お一人ひとりが行動し、歴史的な瞬間を心一つにして迎えようではありませんか。



ご挨拶

国際ロータリー第 2790 地区
ロータリー財団統括委員長
パストガバナー **櫻木 英一郎** (千葉 RC)

日本のロータリーが世界と違う処

日本ではクラブの会費は例会などのクラブの運営と、委員会の奉仕活動の両方に使われます。一方で、世界の多くのクラブでは、会費はクラブの運営費だけに使う。例会の食事代も会員がその都度払い。だから非常に会費が安い。そして、奉仕活動費はプロジェクトに関わる会員達が奔走して寄付を集め、自分達も寄付して資金を作ります。

RI への人頭分担金と財団への寄付金

RI でも同様に、我々が納入する人頭分担金(8000 円程度)は RI の運営のみに使われます。RI 理事会、国際協議会、国際大会、規定審議会などです。そして、奉仕活動の部分は寄付金で賄い、ロータリー財団が資金を管理します。活動には財団本部が主導する地球規模の活動や、各クラブが地域で行う活動があります。ロータリー財団は資金面で活動を支援します。その原資の殆どは皆様の寄付金から成る年次基金です。

寄付は寄付ではない

年次基金はロータリーのあらゆる奉仕活動を支援するための基金です。これはロータリーが世界的な機構だから出来る事であり、RI の会員であるクラブが、クラブの会員である個人が活動資金のシェアに参加するのは各々の役割です。

それ故にロータリー財団、特に年次基金への寄付はロータリーの活動資金の拠出であり、決して関係ない団体にお金をあげる事ではありません。よって、寄付は寄付ではなく、ロータリーの活動資金の拠出です。

今後のロータリーの中心・・・

ロータリー財団と奉仕プロジェクト

ロータリーの基本は何でしょうか？ 日本では理論、思想、職業倫理、人間形成など色々と言われています。しかし、世界では？

ロータリーの基本は

「Ideal of Service」です。適切な日本語は「Service という考え」、或は「Service の心」でしょうか。そして Service とは「Thoughtfulness of, and helpfulness to others」素直な日本語は「他の人を思いやり、他の人を助ける事」。「他の人の為」が肝心な要素です。

つまり、ロータリーは「他の人を助け、他の人の為になる事をする」を主目的とします。また、これに努める人の集まりがロータリークラブです。その活動は個人であっても団体であっても。

ロータリーではこの目的を達成するために地域でも世界でも色々な活動をします。健康、水、平和、ポリオなどなど。このような活動(プロジェクト)をひっくるめて奉仕プロジェクトと総称します。ロータリーの活動は奉仕プロジェクトに集約されます。

寄付は第 2 の奉仕

ロータリー財団は多くの奉仕プロジェクトを主導し、且つ資金的に支援します。よってその財源である皆様の寄付は活動支援、延いては資金面で活動に参加する事にもなります。故に、「寄付は第 2 の奉仕」とも言われます。

従来日本独自のロータリー観に固執せず、そこからちょっと焦点を離して世界を俯瞰してみませんか。

ロータリー財団統括委員会 副委員長挨拶



ロータリー財団統括委員会
副委員長

水野 晋治 (柏西 RC)

2013-14年度より導入された未来の夢計画も4年以上経過し、当地区においても地区の裁量のもとDDF(地区財団活動資金)を有効に配分できるよう様々な取り組みを行っているところです。

地区内からの年次基金への寄付はシェアシステムによって半分は3年後地区へ戻ります。そして残りの半分は世界中のロータリアンと分け合うというこのシェアシステムも年々理解が広まってきているようです。

当地区の年次基金寄付も2013-14年度一人当たり98ドルから昨年度(2017-18年度)は137ドルまで引きあがりました。これは約138%の上昇となります。

今年度は着実に増えてきているこの年次基金寄付がDDFとして地区に戻った際、特に地区補助金が多く余ってしまうなどという事態が起こらないよう、地区補助金の申請を増やすまた、さらに大型の国際奉仕プロジェク

トへの挑戦の後押しのため、地区補助金の配分の見直しに着手しました。先日9月1日に開催しましたロータリー財団セミナーにおいても発表しましたが、国際的人道奉仕には1件当たりの上限を30万円から50万円へと引き上げをする準備を進めております。

来年2月2日(土)には三井ガーデンホテル千葉において2019-20年度に向けたロータリー財団補助金管理セミナーを開催する予定です。そこでさらに詳しく発表予定です。

ぜひ地区内クラブの皆様におかれましては、来年度地区補助金を活用していただき国際奉仕や社会奉仕プロジェクトの実施を検討いただければ幸いです。

この他にも最終段階に入ってきたポリオ撲滅、そのポリオ撲滅への寄付に繋がるロータリーカードの普及に力を入れております。中でもクラブカード(ダイナース)の普及に特に力を入れております。また、グローバル補助金、グローバル又は地区補助金を使った奨学生、ロータリー平和フェロシップなど様々なプログラムを扱っています。副委員長としてこれらのプログラムが円滑に進むよう調整を図っていききたいと思います。



ロータリー財団統括委員会
副委員長

漆原 摂子 (勝浦 RC)

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー設立後110余年を経て、今や全世界に120万人以上の会員を擁するロータリーですが、標語の一つである、地域で世界で「よいことをしよう」のもと、多くの会員が外向きの奉仕活動を実践しています。クラブ単位で奉仕活動を計画する時、資金面での負担が多くなりがちですが、それを補助する財源となるのがロータリー財団の皆様からの寄付です。皆様からの財団への寄付は、奉仕活動のみに補助されるのではなく、海外で学業に専念したい方への奨学金もあり、クラブからの推薦を経て一定の選考基準をクリアすることで奨学金授与に至ります。更には、次世代のグローバルな平和構築者を育成するためのロータリー平和センター(世

界6ヶ国7大学に設置)で、平和と紛争解決の分野を学ぶ意思を持つ方を選考、財団本部へ推薦し、奨学金授与へと繋がります。そして何と申しましても、1985年にスタートしたロータリーの最優先項目であるポリオ撲滅運動への資金提供です。1988年に世界ポリオ撲滅推進活動とのパートナーシップを開始して以来、17億ドル強を寄付、世界のポリオ発症例数は99.9%にまで減少しました。撲滅の歴史的瞬間まで「あと少し」です。1917年に始まったロータリー財団への今日までの累計寄付額は44億ドル以上、そして毎年公正かつ適切に使用されており、その管理体制は高く評価されています。慈善団体の格付けを行う米国のチャリティナビゲーターは、8,000以上ある団体の中、10年連続でロータリー財団に4つ星の最高評価を付けました。これは、ロータリー財団の財務の健全性や説明責任と透明性に対する徹底した姿勢が評価されたものです。

世界の6人に1人が医療費を払うことができません。安全な水の欠如が原因となり、毎日1,400人の子どもが命を落としています。16歳以上の人口のうち8億人近くは読み書きができません。どうぞロータリー財団の活動内容にご理解をいただき、ご協力をお願い申し上げます。

委員長就任にあたって



財団資金・推進管理委員会
委員長

大野 雅章 (千葉 RC)

当委員会は地区内のロータリー財団への寄付の推進を図る役割を担っています。

ロータリー財団への寄付である年次基金、ポリオプラス、恒久基金、その他基金は、財団による運用の後、シェアシステムにより地区財団活動資金として地区に配分され、皆様の奉仕プロジェクトの財源として活用されています。

皆様はなぜ寄付をするのかお考えになったことがありますでしょうか？

ロータリーの基本理念は「奉仕の理念」であり、ロータリーの目的は「意義ある活動の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある」、これは皆様ご承知のとおりです。ロータリーの基本理念を実現するため私たちロータリアンは奉仕プロジェクトを行っています。この奉仕プロジェクトを皆様

からのご寄付が各種補助金となってサポートしているのです。皆様がロータリー財団への寄付を行うことは、奉仕プロジェクトを行うことと同じく、ロータリアンとして「奉仕の理念」実現のため行うべきこととお考え下さい。

当地区では活動資金の主な財源である年次基金に150ドルの寄付を、ポリオ撲滅の認定が達成されるまではほかのすべてのプログラムに対して優先される国際ロータリーの特別プログラムである「ポリオプラス」へ30ドルの寄付を、会員の皆様をお願いしています。

また、当地区では2015-16年度より寄付ゼロクラブ(年次基金寄付への寄付がゼロのクラブの意)0を達成、日本国内でも2016-17年度寄付ゼロクラブが0となりました。当委員会では皆様のクラブが寄付ゼロクラブとならないようクラブの寄付累計や地区内他クラブの寄付状況が確認できる資料を配信させていただいておりますのでご活用ください。

「世界で良いことをしよう」その一歩は年次基金への寄付から始まります。



グローバル事業補助金委員会
委員長

三神 秀樹 (千葉南 RC)

橋岡ガバナー年度では、グローバル事業補助金委員会の委員長としてグローバル補助金の担当をいたします。当地区内各クラブが援助国側となり実施国側海外パートナークラブと共に人道的プロジェクトを遂行する際、地区財団統括委員会の一員として地区内の申請クラブを支援させていただきます。また、地区内ロータリークラブから推薦されたグローバル補助金を活用した大学院水準の奨学生選考面接や、その奨学生の渡航前オリエンテーション等も関連委員会と共に実施しております。

グローバル補助金については、財団セミナーや補助金セミナーといった場で申請方法や今までの実施例を紹介しておりますが、海外のロータリークラブが実施国側となるために難しさを感じることもあると思います。しかし、海外姉妹クラブとの友好関係が長い場合など実現可能な場合も多々あるのではな

いでしょうか。実施国側からの要請に対し、その必要性を現地調査することを通じて両国のクラブ間の更なる相互理解を深めていくという利点もあるのではないのでしょうか。グローバル補助金の活用により奉仕プロジェクトが無事遂行され、国際ロータリーの提唱している6つの重点分野のいずれか一つに成果が上がれば、ロータリー活動の意義が証明されます。まずは、今まで当地区のクラブが支援し実施された人道的国際奉仕プロジェクトを知っていただきたく存じます。そして、多くのクラブからグローバル補助金申請がされることを心待ちにしております。

地区財団委員会に関しては、数年間に渡り委員や委員長を経験しているロータリアンも多数在籍していますので、ロータリー財団日本事務局や地区ロータリー統括委員会内の他委員会と連携を図り、また経験者にはご指導を賜り乍ら2018-19年度RI会長テーマである「インスピレーションになろう」を実現させます。

一年間、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

委員長就任にあたって



地区補助金プロジェクト委員会
委員長

大谷 京子 (千葉北 RC)

今年度地区補助金プロジェクトの委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

地区補助金委員会は主に地区内の各クラブや地区の委員会から申請される地区補助金全般について地区とクラブの間に入り対応させていただく委員会となります。この委員会は7月に年度が始まるより半年ほど早く動き出します。

本年度は35クラブから申請があり33クラブに承認がございました。地区内には83クラブありますので約半数以下のクラブからのみ毎年申請が出ている状況です。毎年申請いただくクラブや過去一度も申請したことのないクラブなどいろいろなクラブがあります。地区補助金は地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための比較的規模の小さい短期的な活動を支援しています。そして地区補助金のプロ

ジェクトは相手国にロータリーがあってもなくても可能なのでぜひ国際的人道プロジェクトなどもご検討いただけたらと思います。みなさんからいただいた寄付が補助金となって戻ってきますのでぜひ1つでも多くのクラブの方にご利用いただきクラブの活性に使っていただきたいと思います。

2月に補助金管理セミナーで3月末に申請の締切です。来年度に入ってしまうとあまり時間がありません。セミナー後に急ぎ考えたプロジェクトだと申請がおりたのはいいけど実際活動が厳しいというクラブも出かねません。来年度の活動とはいえプロジェクトの企画は少しでも早く考えていただきたいと思います。相談期間は随時となっていますので不明な点などありましたら遠慮なく地区補助金委員会までお問い合わせください。1つでも多くのクラブそして支援を待っている方のお役に立てるよう委員会メンバーで力を合わせてがんばりますのでよろしくお願いいたします。



奨学生・学友委員会
委員長

佐藤 孝彦 (浦安 RC)

ロータリー財団、奨学生学友委員会は、ロータリー財団が管理する、奨学金による奨学生の選考、オリエンテーション等の教育と、奨学生が帰国後に所属する学友会を担当しています。

奨学生は奨学金の種類により2種類あります。地区補助金奨学生と、グローバル補助金奨学生です。

地区補助金奨学生は、ロータリーの理念に即した就学と奉仕を志し、奨学金の支給等を通じて国際理解と世界平和の促進を支援することを目的としております。地区財団活動資金から2万ドルが授与されます。グローバル補助金奨学生は、ロータリー財団が定めた6つの重点分野（世界平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生設備、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）のいずれかに合ったキャリアを目指し、研究目的もそれに沿ったものであり、海外の大学院で勉強する意欲のある留学生を支援することを目的として

います。地区財団活動資金から2万ドル、国際財団活動資金から2万ドル、計4万ドルが授与されます。注意して頂きたいことは、ロータリー財団の奨学生は、将来的にロータリーの目的達成を目指す人を対象としており、以前ありました、国際親善奨学生とは内容が全く異なります。募集要項は12月をめぐりに、地区のホームページに掲載されますので、詳細はこちらをご覧ください。

奨学生の申請は、希望する個人が、各クラブに申し込む必要があります。各クラブ、応募者に対して面接、選考を行い、クラブ推薦をしてください。クラブ推薦は1名を限度とさせて頂いております。希望者個人から直接、地区財団委員会へ申し込みすることはできません。推薦クラブは、推薦者が合格した時には、現地の受け入れクラブをさがしていただいております。地区委員会も協力いたしますので宜しくお願いいたします。

本年度は、クラブの応募締め切りを2019年3月15日、地区への応募締め切りを3月31日、選考試験を4月14日に予定しています。

委員長就任にあたって



ロータリーポリオプラス委員会
委員長

山本 美代子 (習志野中央 RC)

ポリオを日本で初めて取り入れたのが東京麹町ロータリーです。ポリオ撲滅を RI に訴え、結果、1985年にポリオプラスが開始されました。

プラスとは、ポリオの他、ハシカ、ジフテリア、結核、破傷風、百日咳の五つをプラスとしておりました。このプラスは最初の頃と意味が変わり、ビタミン A のサプリメントと一緒に配布して、健康面での効果を上げたり、ワクチンの運搬、保存のための物流システム、ポリオ発症を監視する世界的ネットワークなど、ポリオ撲滅活動でもたらされた成果全体をプラスと呼んでいます。

東京麹町ロータリーの山田彝(つね)さんは、1981年に南インドで約1ヶ月奉仕活動をしました。その報告をうけて1982年に峰英二さんが南インドで奉仕活動を続けました。

冷凍設備の問題で、効能を失ったワクチンなど大きな失敗もあり、精神的にも肉体的にも大変なご苦労が

あったといえます。何度も南インドに渡り奉仕活動を続け、お二人は大きな成果を残しました。が、インドの風土病にかかり、1988年に山田さんは亡くなられ、峰さんは翌年の1989年に亡くなられました。

インドは、2012年にポリオ常在国から外れました。山田さんと峰さんの奉仕活動が、大きな貢献に繋がっているのだと思います。

世界からポリオを撲滅しない限り、今後、10年以内に世界での年間発症数は20万件に上がると予想されています。ポリオ常在国はわずか3カ国ですが、ポリオの発症がどこかで起きている限り、感染の危険は世界中の子供に及ぶ事になります。

ロータリーは、すべての子供がポリオのない世界に生まれ、手足の麻痺障害という恐怖に怯えることなく、暮らせる日が間近である事を信じて活動してきました。今後、必要なお金は15億ドルと言われております。

最終認定までは、70億ドル必要としています。まだまだ、資金を必要としています。

皆様のご理解とご協力を引き続き宜しく御願います。



ロータリー平和フェロウシップ委員会
委員長

織田 信幸 (松戸 RC)

毎年8月になると海外より10名のロータリー平和フェロウ(奨学生)が東京、三鷹市にある国際基督教大学(ICU)へやってまいります。

彼らはこの大学でロータリーが進める平和センタープログラムによって世界平和の構築・紛争防止/解決分野における修士号取得を目指し約2年間にわたり勉学に励みます。

現在、ICUには昨年来日し2年目になるフェロウ9名と今年度のフェロウ10名を合わせた19名が在籍しています。平均年齢は34.2才で最年少が20歳、最年長が59歳と幅広く出身国もスリランカ、インド、ポルトガル、ブラジル、ガンビア、南スーダン、イタリア、オーストラリア、アメリカと様々です。

フェロウたちはクラブ或いは地区の申請と推薦を経て毎年10月に500名に上る応募者の中からイリノイ州エバンストンにあるRI本部で世界競争性の下、選考されます。

世界から選ばれた最高100名のフェロウ(奨学生)

は平和研究で評価の高い6か国7大学に設置された「平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センター(略してR平和センター)」のいずれかで修士課程または専門能力開発修士プログラムに参加します。

このプログラムはRIが最優先課題として掲げるポリオ撲滅に次ぐ重要プログラムとされ、いずれポリオ撲滅が達成された後はこの平和センタープログラムが最重要項目として取り組んで行くことになると言われてしています。

さて、このプログラムをご存知のロータリアンはどれくらいいらっしゃるでしょうか?

昨年、4月にロータリー日本事務局が日本ロータリー100周年を迎えるにあたり行ったアンケート調査によるプログラムをよく知っている、ある程度知っていると答えたクラブを合わせても2.2%程度に留まっております。このプログラムが始まってからすでに17年が経とうとしている今なお、この様に認知度が低いのが現状です。

2018-19年度第2790地区HPにこのプログラムについての解説DVDがアップされております。

是非、拝見していただきこのプログラムへのご理解を深めていただきたいと思います。

ロータリー財団セミナー報告書



ロータリー財団統括委員会
副委員長 水野晋治（柏西 RC）

2018年9月1日に開催しました R 財団セミナーにつきましてご報告致します。

当日は TKP ガーデンシティ千葉にて橋岡ガバナー、諸岡ガバナーエレクトの他地区役員の皆様と地区内 76 クラブ 130 名を超える会長、幹事、財団委員長にご参加頂きました。

セミナー内容は、櫻木統括委員長より本年度の方針について発表及び、参加者の皆様がクラブでロータリー財団の卓話をやる事をお願いしました。続いて副委員長水野よりポリオ及び地区補助金の変更点について説

明、寄付推進について財団資金・推進管理大野委員長、グローバル事業補助金事業三神委員長、地区補助金プロジェクト大谷委員長、奨学生・学友佐藤委員長、R ポリオプラス朱委員、R 平和フェロウシップ織田委員長と続きました。

参加いただいた方々には 11 月の財団月間をより充実したものにしていただくよう早めの準備をお願いしました。

また、我が地区で初めてロータリーカードのブースを設けてカードの広報をしました。皆さん、是非ロータリーカードをお申込み下さい。



会員増強・維持拡大セミナー報告



会員増強・維持拡大委員会
委員長 櫻井 守（千葉 RC）

8月の会員増強・新クラブ結成推進月間に合わせて「会員増強・維持拡大セミナー」を、8月25日土曜日に千葉市の TKP ガーデンシティ千葉において開催致しました。

当日は、橋岡ガバナーをはじめ、諸岡ガバナーエレクト、漆原ガバナーノミニ、櫻木パストガバナーのご臨席のもと、地区内各クラブより会長・幹事・会員増強委員長 116 名の皆様の参加を頂きました。

今年のテーマは、「会員増強はクラブと会長の最重要課題」です。言うまでもなく会員増強は、クラブの維持・

発展の基本です。クラブの活動には資金や人材が必要であり、そのためには会員を増やすことが必須です。

セミナー第 1 部の講演は、銚子ロータリークラブの信太秀紀さんを講師に迎え、「共感力!!」というテーマで会員増強へのモチベーションを高めて頂きました。

第 2 部は、会長・幹事・会員増強委員長ごとのテーブルディスカッションで会員増強のための情報交換をして頂きました。



ガバナーノミニー・デジグネート(2021-22年度ガバナー)が決定しました。



国際ロータリー第2790地区
ガバナーノミニー・デジグネート

梶原 等 (千葉RC)

生年月日 1960年(昭和35年)9月2日生
所属クラブ 千葉ロータリークラブ
職業分類 建築設計
事業所 株式会社 環境設備計画

【ロータリー歴】

2003年 千葉ロータリークラブ入会
2006-07年度 RYLA委員会 実行委員
2014-15年度 フェロシップ委員会 委員
2015-16年度 地区幹事長
2018-19年度 クラブ会長・地区副幹事長

【認証】

米山功労者
ポール・ハリスフェロー
ベネファクター
ポール・ハリスソサエティ

文庫通信 (372号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の文献より

- ◎「ロータリーの扉を開く言葉」 服部芳樹 2018 11p
- ◎「ロータリー語ときあかし辞典」 服部芳樹・北川宥智 2018 43p
- ◎「日本のロータリーの伝統を守るクラブ細則」 服部芳樹 2018 12p
- ◎「職業奉仕委員会報告書-永続・発展の職業奉仕とは！」 D.2530 [2018] 28p
- ◎「『内向き』と『外向き』わかりやすい職業奉仕」 D.2780 2018 43p
- ◎「プロフェッションの職業奉仕」 高良 明 2018 5p (凡太の奉仕経営物語)
- ◎「ヘルスイ ライフ-ロータリアンの願い」 小林 博 [2018] 17p [上記申込先:ロータリー文庫]
- ◎「ロータリーの心と原点〈改訂第8版〉」 廣畑富雄 2018 171p
[申込先:(株)エムケイスペース FAX(092)737-9557]
- ◎「ロータリー財団ハンドブック」 D.2750 2018 123p [申込先:D.2750 FAX(03)5472-2750]
- ◎「初期ロータリーを顧みて」 鈴木 宏監修 2014 106p [申込先:鈴木宏 FAX(028)660-2224]

—— ロータリー文庫 ——

〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館:午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま223号)

今月のトピックス

- ・台湾米山学友会から災害義援金が届きました
- ・よねやま親善大使の紹介DVDが完成
- ・寄付金速報 — 米山月間へのご協力をお願いします —
- ・「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました
- ・4年目を迎えた山の小学校支援 — 上海 —
- ・交流を通じて深める“実感と理解” — 第2590地区 —

《今月のピックアップ記事》

台湾米山学友会から災害義援金が届きました

9月上旬、日本列島は台風21号と北海道胆振東部地震に相次いで見舞われ、各被災地のインフラは大きな打撃を受けました。

台湾米山学友会では9月8日の役員会にて、全会一致で募金活動を決定。約3週間で28万6,500元(約105万円)を集めました。この義援金は、当会を経由して、第2660地区と第2510地区に送られる予定です。

同学友会の呉憲璋理事長は「今回の台風と地震による被害に我々は皆、大変驚き、直ちに募金を開始しました。台湾米山会一同、一日も早い被災地の再建と復興を心より祈っております」とのメッセージを寄せてくれました。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight223_pdf.pdf

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付

メジャードナー



小高由加里
(鴨川 RC)



竹尾白
(千葉南 RC)



相澤友夫
(船橋東 RC)



大原俊弘
(船橋東 RC)



飯合幸夫
(柏西 RC)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



猿田正城
(銚子 RC)
8 回目



山崎新一
(船橋東 RC)
5 回目



遠田毅
(船橋東 RC)
4 回目



高田住男
(柏西 RC)
4 回目



伊藤浩一
(銚子 RC)
3 回目



桜井広和
(銚子 RC)
2 回目

新ポール・ハリス・フェロー



大川裕士
(君津 RC)



原伸行
(四街道 RC)



高橋良昌
(習志野 RC)

ベネファクター



花澤剛
(習志野中央 RC)



水庫直子
(船橋東 RC)



柴田正道
(船橋東 RC)



高瀬幸雄
(銚子 RC)



鈴木恭浩
(船橋東 RC)



榊隆夫
(柏西 RC)

米山功労者



渡邊幸一
(鎌ヶ谷 RC)
24 回目



鈴木秀承
(鎌ヶ谷 RC)
17 回目



藤井毅
(佐倉 RC)
13 回目



清宮建治
(大網 RC)
12 回目



山口習明
(船橋東 RC)
11 回目



大原俊弘
(船橋東 RC)
11 回目



皆川隆
(鎌ヶ谷 RC)
9 回目



板倉達夫
(大網 RC)
6 回目



鈴木子郎
(柏西 RC)
6 回目



武田勲
(市原中央 RC)
5 回目



大家浩明
(船橋東 RC)
2 回目



草野宏隆
(船橋東 RC)
2 回目



原伸行
(四街道 RC)
1 回目



高橋良昌
(習志野 RC)
1 回目



高橋勝
(習志野中央 RC)
1 回目



三田英志
(習志野中央 RC)
1 回目



山本孝
(習志野中央 RC)
1 回目



鈴木隆男
(船橋東 RC)
1 回目



度会一也
(船橋東 RC)
1 回目



石田英世
(大網 RC)
1 回目

新ロータリアン (敬称略)



五月女勇
(四街道 RC)
建設業
7 月 1 日入会



原伸行
(四街道 RC)
総合建築
7 月 1 日入会



柴田康夫
(千葉東 RC)
建築工事
7 月 2 日入会



中島二郎
(四街道 RC)
歯科医
7 月 29 日入会



杉澤周馬
(千葉東 RC)
飲食
8 月 3 日入会



前原彩
(千葉北 RC)
弁護士
8 月 3 日入会



齋藤秀明
(佐倉 RC)
貿易業
9 月 2 日入会



徳倉基宏
(東金 RC)
食品加工
9 月 4 日入会



岡田健太郎
(松戸中央 RC)
不動産業
9 月 6 日入会



林田謙志
(木更津東 RC)
土木事業
9 月 19 日入会



田口理紗
(木更津東 RC)
総合建設業
9 月 19 日入会



米岡孝
(銚子 RC)
損害保険
10 月 3 日入会

国際ロータリー第 2790 地区 (千葉) 出席・会員数報告 (2018 年 9 月)

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数				
				2018 7/1	女性	当月	女性	増減
第1グループ	市川川	94.1	2	35	0	40	1	5
	市川東	100	2	42	2	42	2	0
	市川南	75	4	21	2	21	2	0
	浦安	83.6	3	44	1	44	1	0
	市川シビック	82.14	2	32	0	33	0	1
	浦安ベイ	73.8	3	15	0	15	0	0
平均	84.77	2.67	31.50	0.83	32.50	1.00	6	
第2グループ	船橋橋	95.52	3	30	0	30	0	0
	船橋西	83.11	4	41	7	42	7	1
	鎌ヶ谷	86.49	4	32	2	32	2	0
	船橋橋東	83.2	4	29	3	29	3	0
	船橋橋南	86.11	4	14	1	14	1	0
	船橋みなと	92.81	4	18	4	19	4	1
平均	87.87	3.83	27.33	2.83	27.67	2.83	2	
第3グループ	千葉葉	84.65	3	85	4	94	4	9
	新千葉	84.56	3	49	0	55	0	6
	千葉西	80.28	3	51	4	53	4	2
	千葉中	79.2	4	31	0	32	0	1
	千葉幕張	90.99	3	36	3	37	3	1
	千葉東	85.84	3	28	2	30	2	2
千葉若潮	61.67	2	32	1	33	1	1	
平均	81.03	3.00	44.57	2.00	47.71	2.00	22	
第4グループ	千葉南	80.77	3	45	6	49	7	4
	市原原	59.08	2	48	3	53	4	5
	千葉港	84	2	24	3	27	3	3
	市原中央	81.53	4	50	1	50	1	0
	千葉北	74.11	4	27	3	28	4	1
	千葉緑	100	2	23	1	23	1	0
平均	79.92	2.83	36.17	2.83	38.33	3.33	13	
第5グループ	木更津	78.2	3	28	4	31	5	3
	上総	61.67	4	15	0	15	0	0
	富津中央	68.5	4	33	1	34	1	1
	木更津東	82.41	4	47	3	51	4	4
	君津	95.43	2	58	4	58	4	0
	袖ヶ浦	93.84	2	24	4	25	4	1
富津シティ	65.2	4	15	1	15	0	0	
平均	77.89	3.29	31.43	2.43	32.71	2.57	9	
第6グループ	館山	85.13	4	46	3	48	5	2
	鴨川	96.88	4	34	5	34	5	0
	勝浦	89.29	3	39	4	42	5	3
	千倉	50	2	5	2	6	2	1
	鋸南	80	3	14	1	15	2	1
	館山ベイ	69.05	4	22	0	22	0	0
平均	78.39	3.33	26.67	2.50	27.83	3.17	7	
第7グループ	茂原	81.02	3	62	5	63	4	1
	東金	92.53	4	15	1	18	1	3
	大原	95.83	3	10	1	9	1	△1
	大多喜	80.94	3	7	1	6	1	△1
	成田空港南	74.77	3	32	0	32	0	0
	茂原東	68.88	3	22	1	22	1	0
	茂原中央	58.65	4	22	2	23	2	1
	大網	76.62	4	31	1	31	1	0
東金ビュー	60	2	20	1	20	1	0	
平均	76.58	3.22	24.56	1.44	24.89	1.33	3	

グループ	クラブ名	出席率 (%)	例会数	会員数					
				2018 7/1	女性	当月	女性	増減	
第8グループ	銚子	87.82	4	40	3	40	3	0	
	旭	77.1	4	45	4	46	4	1	
	八日市場	73.75	4	37	2	40	3	3	
	銚子東	81.57	4	29	2	32	2	3	
	平均	80.06	4.00	37.75	2.75	39.50	3.00	7	
第9グループ	佐原	91.89	3	50	0	50	0	0	
	多古	85.71	3	17	0	17	0	0	
	小見川	85.9	4	24	0	26	0	2	
	佐原香取	72.5	2	24	1	24	1	0	
平均	84.00	3.00	28.75	0.25	29.25	0.25	2		
第10グループ	成田	66.67	4	72	5	71	4	△1	
	八街	80.94	4	29	3	32	3	3	
	印西	65	4	20	1	20	0	0	
	白井	60.71	2	14	1	14	1	0	
	富里	61.75	4	29	0	31	0	2	
成田コスモポリタン	70.25	4	68	0	71	0	3		
平均	67.55	3.67	38.67	1.67	39.83	1.33	7		
第11グループ	柏	70.57	4	65	10	67	10	2	
	我孫子	80.45	4	27	2	29	2	2	
	柏西	75.36	4	67	3	68	3	1	
	柏東	74.42	4	41	9	43	9	2	
	柏南	66.25	4	41	6	40	6	△1	
平均	73.41	4.00	48.20	6.00	49.40	6.00	6		
第12グループ	習志野	64.64	4	23	2	24	2	1	
	八千代	84.57	4	51	0	51	0	0	
	佐倉	59.1	4	31	3	33	3	2	
	八千代中央	75.8	2	22	1	22	1	0	
	四街道	67.86	4	26	3	28	3	2	
	習志野中央	65.95	4	49	4	50	4	1	
佐倉中央	84	3	22	6	25	7	3		
平均	71.70	3.57	32.00	2.71	33.29	2.86	9		
第13グループ	松戸	94.25	4	58	0	61	0	3	
	松戸東	89.03	4	47	0	48	0	1	
	松戸北	80.89	4	40	0	40	0	0	
	松戸中央	76.8	4	42	7	44	7	2	
	松戸西	87.93	4	29	0	29	0	0	
平均	85.78	4.00	43.20	1.40	44.40	1.40	6		
第14グループ	野田	80.67	3	52	7	52	7	0	
	流山	76.18	3	14	3	14	3	0	
	野田東	73.75	4	21	0	21	0	0	
	流山中央	92.13	3	23	2	22	2	△1	
	野田セントラル	79.38	4	25	1	25	1	0	
平均	80.42	3.40	27.00	2.60	26.80	2.60	△1		

クラブ数 83RC		
2018年7月1日	地区会員数	2,797
2018年9月末日	地区会員数	2895
2018年7月1日	地区女性会員数	189
2018年9月末日	地区女性会員数	197
当月平均出席率		79.65%
増減		+98
女性会員増減		+8

物故会員 (啓称略)



池田 哲夫 (勝浦 RC)
 逝去日: 2018年1月13日 (享年69歳)
 入会日: 1996年7月1日
 ロータリー暦: 2006-07 クラブ会長



菊地 忠 (新千葉 RC)
 逝去日: 2018年9月17日 (享年91歳)
 入会日: 1968年6月19日
 ロータリー暦: 1976-77 クラブ幹事
 1989-90 クラブ会長
 2000-01 ガバナー補佐

11月のロータリーレート

112

円

【今月の表紙】 亀山湖（写真提供 公益社団法人千葉県観光物産協会）

亀山湖は君津市の南東部、小櫃川上流部の亀山ダムによってできた湖です。
四季折々の自然が美しい地で、紅葉の時期には15万人もの人を訪れるほどの人気です。
11月17日(土)～12月9日(日)は「亀山オータムフェスティバル」が開催。期間中は紅葉狩りクルーズや、地元君津の朝採り野菜や漬物の販売、ミニコンサートなどのイベントが行われます。
*11月23日(金・祝)には亀山ダムウォッチングとして大迫力の放流が間近で見学できます。

ガバナー公式訪問報告

市原中央RC・千葉緑RC・千葉港RC 合同(8月28日)



大原RC・大多喜RC 合同(8月30日)



浦安RC(8月31日)



野田RC・野田東RC・野田セントラルRC 合同(9月3日)

